

【令和5年度 前期技能検定合格証授与式 ～機械科～】

令和5年11月2日

10月27日に「令和5年度 前期技能検定合格証授与式」が行われました。【普通旋盤作業3級 機械加工技能士】に3年生1名、2年生7名、【フライス盤作業3級 機械加工技能士】に3年生3名、【機械検査作業3級 機械検査技能士師】に3年生6名が合格しました。合計17名が国家資格の合格証書を手に入れました。6月の「令和4年度 後期」に関しては8名だった

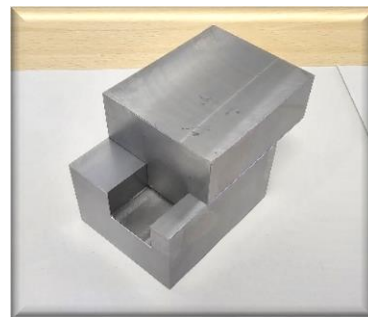


のでこの数ヶ月で多くの生徒が努力し成果を発揮したことが分かります。特に3年生の合格者にとっては有終の美を飾れたのではないのでしょうか。資格取得は今後のキャリアアップに役立つのでさらに磨きをかけてほしいものです。

さて、今回は淡路島テレビジョンの取材があり、機械科3年生の西野 晴太郎君、東田 尚也君、川崎 正都君の3名がそれぞれ資格取得者の代表としてがインタビューを受けていました。

西野君：「3月の後半から7月の後半まで約4ヶ月の間、放課後に残ったり、朝早く来て学科の勉強をしたりして苦勞しました。また、普通旋盤は1個のものを作るのに1時間半から2時間かかるので帰宅が遅くなりました。しかし、先生方の指導を受けることで普通旋盤の資格を取れました。先生方は時には厳しく時には優しく指導して下さい感謝しています。この資格を将来生かせるようにしていきたいと思います。」

東田君：「最初のほうは、時間以内に削り終わることができなかつたり、使っていたフライス盤が故障して機械が変わってしまつたりして苦勞しました。しかし、先生方が優しく的確に指導して下さい技術の向上を深めることができ嬉しかったです。そして、これからもフライス盤の技術をもっと高めていきたいです。」



川崎君：「国家資格を取るのは初めてだったのでとても嬉しいです。測定結果を誤差範囲に収めるのに苦勞しました。先生方はとても優しく丁寧に教えて下さったので合格することができました。就職するので、仕事に役立てたいと思っています。」

へこたれそうになっても課題研究のメンバーと一緒に教え合いをするなどして頑張ったそうです。これらの経験は社会人になって必ず生きてきます。洲本実業での学びに誇りを持って社会人として成長して下さい。